

# 物的環境に関連するインシデント・アクシデント事例

## 事例859

発生場所	廊下、外来待合室	精神・意識障害の有無	リスク
発生場所（その他）-		無	
関連したもの	手すり、柵（仕切り）	発生内容の分類	A. 患者による使い方・置き方のリスク C. 不適切な環境設定・維持管理不足によるリスク
		転落未遂	

### 発生内容

外来通路の3階吹き抜けの場所で、幼児が柵に身を乗り出していた

### 概要

外来で他患者対応のため3階を歩いていたところ、地下1階から3階までの吹き抜けで、地下1階まで見降ろせる場所で、透明な仕切り（柵）にある、腰の高さくらいの手すり部分に膝立ちで幼児がよじ登っていた。すでに、体1/3程度が柵から乗り越えている状況であった。さらに、手すりに立ち上がろうとしていたため、急いで駆け寄り、手すりから降ろそうとしたところで、母親が声を出し、それに気づいた子供が自ら降りた。母親は携帯電話を操作しており、子供の様子には気づいてなかった。

### 要因

景観や防災の関係で、幼児が手すりに登れば、乗り越えられる高さの柵である3階の廊下で、人通りが少ない場所であった。

### 対策

院内で共有し、手すりは撤去できないため、柵を高くする対策となった。

### 参照